



ABIST REPORT 2016

中間報告書 2015年10月1日▶2016年3月31日

ABIST

証券コード：6087

株主の皆さまへ

平素より当社への格別のご支援ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は、今期、創業から18年を迎えます。2013年12月に東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に上場し、2015年3月には、東証二部市場を経て東証一部市場に上場を果たすことができました。創業の精神を「設計技術者が設計技術者のために働き合う、設計技術者の集団を確立する」と定め、各自動車メーカー様やその部品メーカー様他、多くの皆様より温かいご支援を賜り、幾多の困難を乗り越えながらも今日を迎えることができました。誠にありがたく、感謝に堪えないところでございます。今後も、株主の皆様のご期待に応えられるよう事業の拡大充実に努めてまいります。引き続き、ご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「信頼の和の六輪づくり」に注力

当社は、経営課題として「信頼の和の六輪づくり」を掲げ、お客様、ステークホルダー、大学関係者の皆様との信頼の和の再構築、当社所属社員と事業拠点、事業拠点と本社、本社内における信頼の和の再構築に取り組んでおります。「信頼」は信じて頼ること、「和」は一つの目的に向かって皆が心を合わせることであります。そうした信頼の和を、当社のかけがえのない企業文化として大切に育み、技術力の一層向上を図り、お客様に喜ばれるサービスの提供ができるよう、社員一同、精進していく所存です。

既存事業における基盤充実に加え、新規事業を育成

当社グループの中核事業である設計開発アウトソーシング事業におきましては、自動車関連分野を中心として、当社の得意分野である自動車用ランプや内装、ボデー等のコア事業領域でのさらなる強化を目指すとともに、付加価値の高い請負事業のウエイト拡大にも注力し、事業基盤の一層の充実を図ってまいります。一方、中長期の持続的な成長力を維持するために、3Dプリント事業では、金属粉末造形装置導入を始めとして設備投資を積極的に行い、将来の機械部品製造体制の構築に着手致しました。新規事業では水素水の製造販売及び水素関連商材の販売事業の育成に取り組んでまいります。また、ビッグデータ、IoT、AI等昨今のIT技術の進展を機会と捉え、コミュニケーションロボットの開発に取り組んでおります。さらに、三年後には、東京都三鷹市に本社ビル用不動産（投資兼用建物）を取得し、本社を移転させる計画であります。

株主の皆様のご期待に応えられるよう、子会社と一丸になって引き続き業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長

進 勝 博

設計開発アウトソーシング事業

設計開発アウトソーシング事業では、主力事業である3D-CADによる自動車・各種機械等設計開発（派遣・請負）およびシステムサポート事業の拡大とともに、今後の成長戦略として、3Dプリント事業の強化とコミュニケーションロボット開発への取り組みをおこなっています。

3D-CADによる設計開発

システムサポート事業

3Dプリンター造形サービス

3Dプリント海老名事業所では、対応素材の拡充により、お客様の多様なニーズに対応するため、2016年4月に金属粉末造形装置を導入いたしました。それにより、受託製造可能な製品群を飛躍的に拡大し、より一層DDM (Direct Digital Manufacturing) を推進していきます。金属粉末造形装置は、最終製品としての少量多品種の機械部品をデータから直接製造することを狙った

ものです。従来の製造設備では不可能であった、複雑な形状の一体製造が可能になることで、試作品製作が不要になるため、開発から生産の大幅な時間短縮が可能になります。

〔金属粉末造形装置〕
ProX300 (3Dシステムズ)



コミュニケーションロボットの開発

当社が保有する、システムサポート事業のIT技術者によるシステム・ソフトウェア開発スキルおよび3D-CADによる設計開発スキルにより、最近のIT技術の革新に対応する、コミュニケーションロボットの開発に取り組んでいます。社内外のIT技術者によりロボットのアプリケーションシステムの開発を目指します。また、3D-CADによる設計開発と、3Dプリンター造形サービスによる製品開発に対応することができます。ソフトとハードの開発力のシナジーにより、スムーズな製品化をおこなうことができると考えています。

水素水製造販売事業

中長期的な観点から、既存事業とは市場環境を異にする水素水製造販売事業を新規事業として育成しています。新聞、ラジオなど広告宣伝費の集中投入により、一般消費者向け通信販売の顧客基盤を強化し、2016年9月期に黒字化を目指します。



連結損益計算書

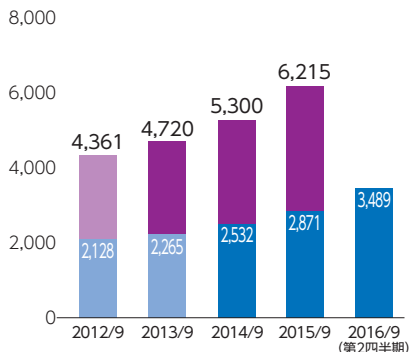
決算期	2014/9	2015/9 (中間期)	2015/9	2016/9 (中間期)	2016/9 (計画)
財務関連データ (百万円)					
売上高	5,300	2,871	6,215	3,489	7,141
売上総利益	1,545	881	1,907	1,163	—
営業利益	713	395	889	577	1,136
営業利益率 (%)	13.5	13.8	14.3	16.5	—
経常利益	680	427	958	582	1,144
当期 (四半期) 純利益	391	221	536	358	697
財務指標 (%)					
自己資本当期純利益率 (ROE)	17.7	—	16.5	—	—
総資産経常利益率 (ROA)	19.1	—	20.5	—	—
自己資本比率	68.4	69.0	70.5	69.9	—
配当性向	34.9	—	34.1	—	—
1株当たりデータ (円)					
1株当たり当期 (四半期) 純利益 (EPS)	103.28	55.63	134.74	90.05	175.32
1株当たり純資産 (BPS)	775.07	—	857.08	—	—
1株当たり配当金	72.0	—	46.0	—	53.0

注 当社は2015年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割致しました。2015年9月期の中間期以前の1株当たりデータにつきましては、株式分割を考慮した額を記載しております。

売上高

連 結 ■ 第2四半期 ■ 通期
非連結 ■ 第2四半期 ■ 通期

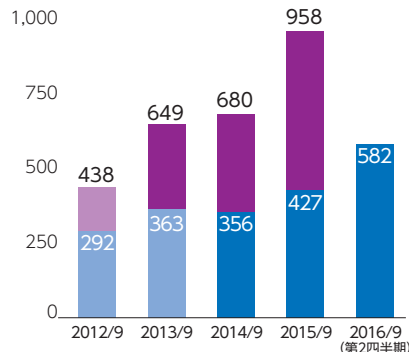
(単位:百万円)



経常利益

連 結 ■ 第2四半期 ■ 通期
非連結 ■ 第2四半期 ■ 通期

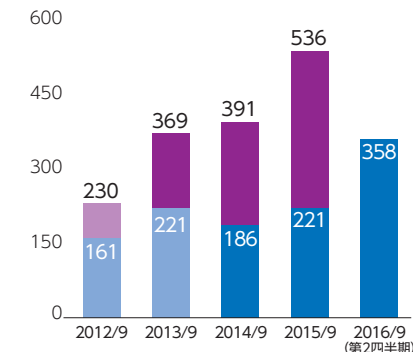
(単位:百万円)



当期 (四半期) 純利益

連 結 ■ 第2四半期 ■ 通期
非連結 ■ 第2四半期 ■ 通期

(単位:百万円)



※当社は2013年9月期第3四半期より連結財務諸表を作成しておりますので、上記のうち2012年9月期から2013年9月期第2四半期につきましては、非連結の実績値を記載し、2013年9月期通期から2016年9月期第2四半期につきましては連結の実績数値を記載しております。

連結貸借対照表

(百万円)

決算期	2014/9	2015/9 (中間期)	2015/9	2016/9 (中間期)
資産の部				
流動資産	3,252	3,068	3,194	3,145
固定資産	1,249	1,529	1,638	1,946
有形固定資産	962	1,089	1,135	1,383
無形固定資産	48	56	76	94
投資その他の資産	237	383	425	468
繰延資産	10	8	7	6
資産合計	4,511	4,606	4,840	5,098
負債の部				
流動負債	1,190	1,192	1,111	1,202
固定負債	236	236	317	331
負債合計	1,426	1,429	1,428	1,534
純資産の部				
株主資本	3,060	3,148	3,463	3,638
資本金	1,026	1,026	1,026	1,026
資本剰余金	1,016	1,016	1,016	1,016
利益剰余金	1,017	1,105	1,420	1,595
その他の包括利益累計額	23	28	△ 52	△ 74
純資産合計	3,084	3,177	3,411	3,564
負債純資産合計	4,511	4,606	4,840	5,098

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

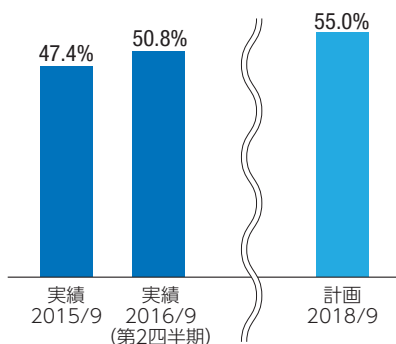
決算期	2014/9	2015/9 (第2四半期)	2015/9	2016/9 (第2四半期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	514	201	570	377
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 393	△ 249	△ 428	△ 279
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,268	△ 171	△ 388	△ 182
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,389	△ 220	△ 246	△ 83
現金及び現金同等物の期首残高	937	2,327	2,327	2,080
現金及び現金同等物の期末残高	2,327	2,107	2,080	1,996

中期経営計画

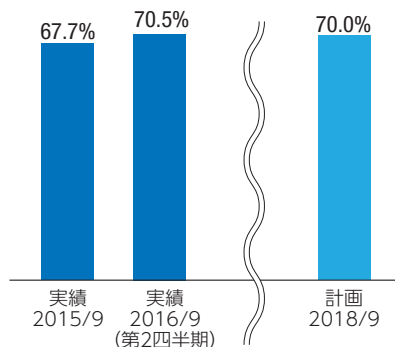
当社は、2016年9月期から2018年9月期の3期間を対象とする、中期経営計画を策定しています。

第2四半期における数値目標の重要ポイントとしては、請負業務の拡大と得意領域の売上構成比拡大となります。3Dプリント事業については、現在樹脂系の3Dプリンターが4台稼働しています。2016年4月に金属3Dプリンター導入を行いました。

請負比率



得意領域売上構成比



<第1領域>

自動車用ランプ、内装、ボデー設計

<第2領域>

電装部品、機能部品、HV・EV関連設計、解析

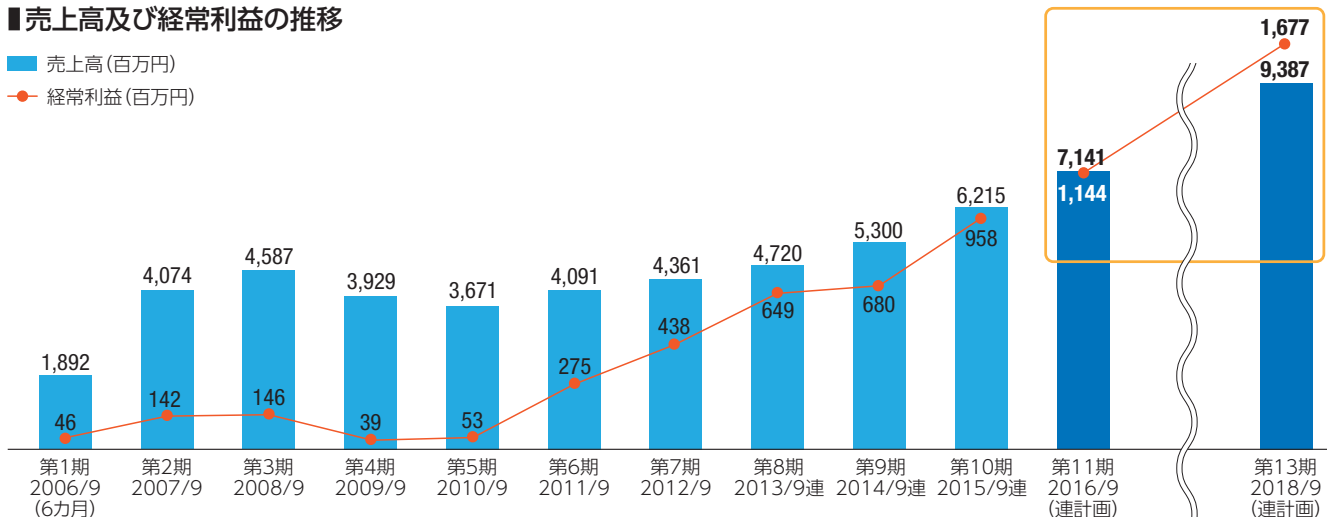
<第3領域>

シャシー部品、空調部品設計

2018年9月期計画値 売上高93億円、経常利益16億円

■売上高及び経常利益の推移

■ 売上高 (百万円)
● 経常利益 (百万円)



会社概要 (平成28年3月31日現在)

社 名	株式会社アビスト (英文表示: ABIST Co.,Ltd.)
本 社	〒165-0026 東京都中野区新井2丁目6番13号 第2宗像ビル
設 立	平成18年3月17日
事業開始日	平成10年2月1日
代表取締役社長	進 勝博
資 本 金	10億2,665万円
社 員 数	847名
事 業 内 容	● 設計開発アウトソーシング事業 (技術者派遣、業務請負) 3D-CAD・CAEによる設計開発業務 3D-CAD教育事業 アプリケーション・システム開発 ● 不動産賃貸、水素水製造販売 (子会社(株)アビストH & F)

役員

代表取締役社長	進 勝 博	社外監査役	丸 山 聡 史
専務取締役	柴 山 憲 司	社外監査役	三 澤 貞 一
専務取締役	島 村 恒 基	執行役員	藤 田 知 哲
取締役	久留島 秀 彦	執行役員	湯 田 光 紀
社外取締役	眞 木 正 喜	執行役員	横 井 康 二
社外取締役	太 田 成 男	執行役員	深 作 和 彦
常勤監査役	金 山 誠 一		

ホームページのご紹介

<http://www.abist.co.jp/>

アビストのホームページでは最新ニュースや事業紹介に加え、IR情報が一目でわかるIR情報インデックスや財務ハイライトなど、個人投資家の皆さまに当社を深くご理解いただけるよう、様々なコンテンツを掲載しております。



TOPページ



IRページ

株主の状況 (平成28年3月31日現在)

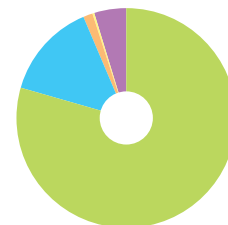
発行可能株式総数	8,000,000株
発行済株式総数	3,980,000株
株主総数	7,448名

大株主

株主名	所有株式(株)	出資比率(%)
進 勝博	600,000	15.07
ABIST社員持株会	257,100	6.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	188,600	4.73
大宅 清文	100,000	2.51
進 絢子	100,000	2.51
日本生命保険相互会社	100,000	2.51
小林 秀樹	90,000	2.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	71,400	1.79
大宅 ヤイ子	60,000	1.50
久留島 秀彦	60,000	1.50

所有者別株式分布状況

個人・その他	79.7%
金融機関	14.1%
金融商品取引業者	1.3%
その他の法人	0.2%
外国法人等	4.7%



株主還元方針

配当性向
30% & **株主優待制度**

当社は、株主様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置づけ、継続的かつ安定的な配当を実施することを基本方針としております。

当社はこれまで、配当性向30%を基本的な配当政策としてまいりましたが、株主様との中長期的な信頼関係を構築するため、株主資本配当率も考慮し、配当金額を決定していく方針です。今期も継続して株主優待制度を実施し、株主還元の充実に努めております。

株主優待制度のご案内

毎年度、中間期末の株主様を対象に株主優待を実施させていただきます。

本年度は株式会社アビストH&Fの「浸みわたる水素水」1ケース(500ml×30本、定価12,600円)を、保有株式数に応じてお届けいたします。

保有株式数	第1回発送 (6月末～7月中旬)	第2回発送 (8月末)	第3回発送 (9月末)	合計
100株以上200株未満	1ケース	—	—	1ケース
200株以上1,000株未満	2ケース	—	—	2ケース
1,000株以上	2ケース	2ケース	1ケース	5ケース

2016年3月末の株主様が対象

お手続き不要

株主名簿住所へ発送

- 2016年3月末の株主名簿に基づいて優待品をご送付させていただきますので、株主様のお申し込み手続きは不要です。
- 2016年3月末の株主名簿のご住所宛に送付いたします。
- 恐れ入りますが、配送時期の変更、配送日時の指定などの対応はいたしかねます。
- 送付先変更のご連絡先については、同封書類の「2016年株主優待のご案内」をご覧ください。

株主メモ

事業年度 10月1日～翌年9月30日
期末配当金受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 毎年12月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL: 0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場証券取引所 東京証券取引所
市場第一部
単元株式数 100株

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.abist.co.jp>
(ただし、電子公告によることができない事故、そのほかのやむを得ない事由が生じた時は、官報に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求のほか各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社アビスト

〒165-0026 東京都中野区新井2丁目6番13号 第2宗像ビル

